



熊本大学応援団 OB 会だより

(第 4 号)

第 27 回 (令和元年度) OB 会特集

— 令和元年 (2019) 12 月 25 日発行 —

会長挨拶

河村 久幸 (7 代)

第27回熊本大学応援団OB会に、多数また遠方から参加頂きましてありがとうございました。厚く御礼申し上げます。

今年は、新入団員がリーダー部に1名、チアリーダー部に9名入部いたしました。本当に嬉しく思います。その中での今年のOB会は、武夫原での懐かしい練習、総会、懇親会という3部構成でした。

練習には23名参加して、押忍1、押忍2、発声練習、お手々振りふり、四股たち、演武練習も思い出しながら気持ちいい汗をかきました。



OB会総会では、演武伝達練習の支援・・・昨年9月から先月まで月平均2回程度実施しました。参加されたOBの皆さん本当にご苦労様でした。お陰で、現役の諸君の演武の上達ぶりは素晴らしいものです。

財政支援では、本日参加の43名を含めて133名の皆さんがOB会運営費2千円を納付していただきました。更に熊本大学基金では、66万円寄付を頂いています。これは全額現役の活動費になります。心からご協力に感謝します。

そして、今回は役員改選時期ですが、今後2年間を引継ぎ期間として現役員体制で進め、2年後は次の世代へと交代すること決定しました。以上が総会の報告です。

なお、中村団長は来春大学を卒業、応援団も卒業されます。一人で応援団を支えた時代もあり、ご苦労も並大抵ではなかったと思いますが、素晴らしい後輩を育て、見事継続して頂きました。OB会一同より感謝申し上げます。本当にご苦労様でした。

最後に、今回のOB会開催に当たり中野副会長はじめ役員の皆様、幹事の16代から19代のOBに深く感謝します。ありがとうございました。OB会は今後も金銭面、行動面から現役を力強く支援していきたいと思っております。今まで同様、ご理解とご協力をお願いいたします。

来年10月31日(土)OB会で会いましょう。

押忍

団長挨拶

中村 あゆみ(44, 45, 46代)

押忍。現役で第46代団長を務めております、理学部理学科4年の中村あゆみと申します。先日のOB・OG総会では、お忙しい中、多くの皆さまがお越し下さり、本当に充実した時間を過ごすことが出来ました。また、翌日の紫熊祭ステージにも足を運んでくださった方々、本当にありがとうございました。このように現役が活動出来ているのも、OB・OGの皆様のご支援のおかげだと、改めて実感いたしました。現役一同、深く感謝申し上げます。

本年は、リーダー部に1名、チアリーダー部に9名の1回生が入部し、応援団の盛り上がりを感じられる1年となりました。今後も、それぞれの目標に向けて日々の練習に励んで参ります。



私事で恐縮ですが、本年を持ちまして私は応援団を卒団し、後輩たちへ引き継ぐこととなります。創部50周年の年に入部し、団員1人の年も経験しながら、今まで応援団を続けて来られたのは、先輩方のご支援のおかげです。OB・OGの皆様には4年間、本当にお世話になりました。ありがとうございました。新しい代になりましても、引き続きご指導ご鞭撻のほどよろしく願い申し上げます。これからのOB・OG総会では、OGとして参加いたします。OGとして、皆様にお会い出来ますことを楽しみにしております。

OB会での貴重な体験

松元 詩乃 (47代)

今回現役として参加させていただき、多くのOBの先輩方にたいへん興味深いお話をお聞きすることができて、とても貴重な経験をさせていただきました。個人的には、留学をすることになっておりまして、留学への意気込みを語らせていただき、皆様に激励していただき大変勇気が出ました。誠にありがとうございました。

留学しても応援団を忘れず

蓮池 萌加 (47代)

OB 懇親会にお招きいただきありがとうございました。ステージでも発表させていただきましたように、私は来年の2月から約7ヶ月間トルコへ留学する予定です。トルコでは授業を受けるだけでなく、応援団の文化を伝えてゆき、熊大応援団としての自覚を忘れずに活動していく予定です。今後現役の数は減ってしまいますが、これからもご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。



演武披露をして

市原 翔一郎 (47代)

演武披露では3つ続けてのリーダーだったため、疲れはしたが達成感がありました。また、自分の中で課題も見つかりとても良い経験ができたと思います。OB 総会や、各地域での同窓会では、人生の先輩方にありがたい話を聞けるのでとてもためになります。今回の総会でも今後自分たちがどう練習していけばいいか分かった気がしました。



一回生です、頑張ります

高野 真心 (48代)

多くの方のご支援で今の私があることを実感したOB会総会でした。

これから、熊大応援団の一員として、精一杯、活動をさせていただきます。よろしくお願いたします。



今年のOB会に参加して



今年も盛り上がりました

19代 木村 誠司

穏やかな秋晴れのもと、武夫原で気持ちよく練習をして、学生応援歌を練習では、3番の腕の上下がテンポについていけなくなりました。そのあと、立田山を散策し、階段の長さにびっくりしました。毎日こんなところで練習していたのかと…。総会での無理せずに役員をつなげていこうとするやり方には賛成です。またOB会の3代持ち回り幹事制もよい効果がでています。また、現役への演武伝達練習会をかなりの回数実施されてきたことも報告されました。同期の柘島さん、ありがとうございます。懇親会は、各代、現役関係なく交流できて楽しさMAXでした。ミニ演武会も応援団ならでの催しで力が入りました。最後の巻頭言後に中村団長への感謝を込めて、天本幹事長からエールが送られました。これも応援団しかできない気持ちの伝え方と思います。今年は、硬式野球部の応援もされたということでチアリーダー一部とリーダー部の一層の活動の展開が期待されます。翌朝は、声がかれ全身の心地よい筋肉痛がありましたが、復興した熊本城を散策して帰りました。「押忍」を腹いっぱい発せられて元気になった気がします。



楽しいひと時を過ごしました

19代 柘島 正利

河村会長からは、演武伝達練習に関して労いの言葉をいただきましたが、私自身は結構楽しんでやっていました。一応、練習も一区切りつけたところですが、何となく寂しさも感じるの何なのでしょう？OB会の次の日には、熊本城に久しぶりに行ってきました。地震の後、ボランティアで5月の連休に2日間通って以来の熊本城でした。沖縄の人に首里城があるように、私にとって熊本城は特別なものであることを改めて感じました。土木行政に携わっている自分としては、薩摩軍の攻撃に対してびくともしなかった熊本城が、ほんの一瞬であのような姿になってしまったことは、人間の力など自然の前では全く無力であることを改めて思い知ったところです。避難勧告が出たときは、すぐに逃げましょう。ちょっと変な方向に行ってしまいましたが、2010.10.31 またお会いしましょう。

来年は幹事、仲間を結集！

20代 平原 一幸

今回OB会。急な仕事の関係で、練習時間に間に合わなかった私は、練習を終了し立田山を散策する先輩方と合流することで、始まりとなった。当時「エッサー、ホイッサー」と大きな声を出し走っていた、いつ

ものランニングコースをゆっくりと歩いた。あの時とは違い、ワンルームマンションが乱立してはいるが、それでも当時の面影を残す建物も所々に残っていた。といっても、あの時は、周りの風景を楽しむ余裕もなかった自分だったが…。「階段、こんなに長かったかなあ」「ここで、うさぎ、アヒル、カメ、オンブ、よくやれたもんだなあ」と当時の思い出に浸りながら中腹の見晴場へ。熊本城にクレーンががかり修復している様子が見て取れた。花岡山の仏塔や、遠くには金峰山も見ることができた。「押忍、押忍」と雄叫びをあげながら、確かに見えていた風景ではあるが、年月がたったせい、はたまた、心に余裕を持って見ているせい、あの時とは違った風景に見えたのは、私だけではなかったはずだ。締めくくりは地獄坂のダッシュ。「一本行こうか！」という先輩の声に、そこにいた全員が参加した。いくら手を振っても、足をあげようと、なかなか前に進まないから地獄坂なのである。今更そのことを深く悟った。夜の懇親会はいつものごとく、昔話に花が咲いた。特に卒業して初めて会えた先輩や二十数年ぶりに会えた先輩はまさに当時憧れの先輩であり、その先輩方との再会は今回のOB会の最大の思い出となった。もちろん現役団員の益々の成長ぶりはOBとして見ていて本当に頼もしいばかりである。

そんな中、中村団長が卒業していくと聞いた。50周年のあの年から4年間、本当にたいへんだったことだろう。その応援団に対する尽力に心から敬意を表するとともに今後の大いなる活躍を祈っている。



やはり、懐かしい先輩後輩に会うと嬉しいです！楽しいです♪今年は特に、30数年ぶりの後輩にも再会し、入団当時は怖くてたまらなかった先輩達ともじっくりお話しできて感激です(緊張のあまり正座していました。来年も正座します)。

今回、一つ忘れものがありました。50周年OB会でいただいた写真入りの名札！これを首にかけ懇親会に参加するはずが忘れていました。木村と永田が写真には写っていません。そして眞藤が…

15代のみんな！もう60歳だよね。一線を退く歳とはいえまだまだ元気なはずだよね！来年、熊本で会いましょう！

現役の演武に感動

8代目 長谷 政晴

昨年は義母の米寿の祝いと重なって参加できず、今回2年ぶりに参加しました。秋空のもとでの練習は勿論きついけれど、気持ちのいいものでした。リーダーの天本君が参加メンバーを見て練習内容を考慮してくれたのでしょうか、なんとか最後までついていけました。そのあと中野君、村瀬君らと大学裏を散策がてら、「階段」から立田山に登りました。発声練習をやっていた広場は桜の木が大きくなり、民家がすぐ下まで迫っています。「もう発声練習はできんな」と私。立田山を下りながら、昔話。ここが銭湯、ここがおばちゃん食堂と話す中で、村瀬君がとにかく、よく昔のことを覚えている。驚きでした。

OB会は知命堂(くすのき会館)で。議題は原案通り可決されました。私自身は、今年になってから週3日の仕事を始めたため、土曜日に行われる事務局会に参加できませんでした。河村会長はじめ事務局の皆さんには申し訳ないという気持ちと共に、OB会までの事務あれこれをしつかりとやってもらって感謝しています。今後あと2年間、副会長ということに成りましたので、引き続き河村会長を支えていきたいと思います。



また、蓮池・松元各団員が留学のため休部すると聞いた。応援団にとっては少々さみしさを感じるが、英語の教員としての私は、グローバルな人間へとさらに成長していこうとする2人に、素直にそして心からエールを送りたい。残された市原団員と新入団員の高野団員に今後は大きな比重がかかってくるが、気負いすぎず地道に朴訥に頑張ってくれることも期待したい。来年度は、いよいよ自分たちがOB会の幹事となる。会場で宣言したように、まずは20代、21代、22代の結集を試み、誠心誠意、次回OB会の成功に向けて取り組んでいこうと思う！ 押忍！

昔の仲間と再会で感激！

15代 宇治野 和範

今年もかみさん同伴で参加しました。かみさんは通町でのお買い物メインです。OB会翌日は、熊本城天守閣前広場で涙腺を緩ませ、上通の岡田珈琲で珈琲を飲んで、あの武蔵塚で「武蔵うどん」を食べました(岡田珈琲と武蔵うどんは毎度のことです)。武蔵塚って車でいくと楽ちんです(現役の時は地獄でした！よね)。その後、今秋に開通した俵山のトンネル経由で南阿蘇に行き、阿蘇山を眺めて、阿蘇神社に参拝して久住に泊まり、月曜は竹田散策でした(竹田城からの阿蘇九重山、由布岳の眺望は絶品です)。

OB懇談会では、懐かしい面々と杯を交わすことができました。また現役リーダー、チアの皆さんともいろんな話ができて、若い力をもらえたように思います。特に現役リーダーによる演武三連発には感動しました。逍遙歌、第2学生歌、必勝の歌。一昨年の9月から始まった演武伝達練習で、多くのOBにより伝えられた演武を、見事に演じてくれました。学園大との演武会、九州応援推進ネットワーク演武会などを経て、益々落ち着き、気持ちのこもったものになっています。1年生リーダー高野さんもしっかりやっていました。またチアリーダー部にも9人が入部してくれたとのことで、また新たな応援団としての発展が始まると思うと、本当に楽しみです。

最後の中村団長の巻頭言。すばらしかった。あなたが頑張ってくれたから、後輩があとに続いています。12月21日まで、あと一踏ん張りです。今回幹事をしてくれた天本君をはじめとする17,18,19代の皆さん、有り難うございました。また来年、沢山のOBと会えることを楽しみにしています。



来年は、留学のお土産話を楽しみに… 22代 松原 賢

単身赴任となってから2回目の参加となりました。埼玉から始発で、空路熊本へ。今年も好天に恵まれました。如何に日ごろの行いがよいかかわかるかというものです。昼食は上通りの紅蘭亭で太平麺をいただき、力を蓄えたところで、練習参加。少しは自信があったものの四股立ちにはしんどかった。天本先輩に鍛えていただきました。練習後は総会まで少し時間も合ったので同期の中村と立田山貯水池まで散策。当時は懐かしむとともに、変わり行く黒髪を少し寂しく感じました。懇親会は大いに盛り上がり、諸先輩方の話に耳を傾け、後輩と大いに語り合い、あつという間の時間の経過にホテルに帰ったのは日付が変わっていました。翌日は現役の演武を拝見しました。中村団長の演武も最後かと思うと寂しくもありましたが、身も心もリフレッシュさせていただいた2日間で皆様に感謝しています。来年は当番期ということで、役には立たないとは思いますが、すでに来年10月31日の予定はスケジュールに入れています。次回は留学から帰ってくる団員2名のお土産話を楽しみにしながら参加したいと思います。

中村団長への心を込めたエール 18代 天本 真臣

今回のOB会は、幹事として参加、企画させていただきました。まず何より好天にも恵まれ、多くのOBの皆様にご出席いただき、無事に終わることができて安堵しています。ご協力いただきました全ての皆様にご場をお借りして厚く御礼申し上げます。今年の夏頃から幹事の間で話

し合いを行った結果いくつかのアイデアが出てきましたが、残念ながら諸般の事情により断念した企画もありました。その中で一つ実施いたしましたのは、来春ご卒業を迎えられる中村団長に感謝のエールを贈らせていただいたことです。振り返ってみますと、私達18代目は「団員が少ないことに因る苦勞を全く経験したことがない」世代であります。ですから、3年間幹部一人で再び団員ゼロの危機を救い、ここまで応援団を復活させてくれた中村団長のご努力に対してOBから何か感謝の気持ち伝えたい、との想いからこのエールを企画いたしました。皆様にもご協力いただき、ありがとうございました。後に続く後輩の皆さんの力になれるよう、微力ながら協力していけたらと思っています。また次回、皆様と元気で目にかかれることを楽しみにしています。



リーダー部、チア部の活躍が嬉しい 10代 村瀬 弘幸

当日の懇親会で現役団員の演武を拝見して感銘を受けました。練習に頑張った現役団員や演武伝達に尽力されたOB皆様に深く感謝いたします。また、リーダー、チアリーダーが一体となった応援、リーダー部における熊本市内や九州の大学との合同演武会の取り組み、チアリーダー部の九州、全国大会への出場など現役の活躍をたいへん嬉しく思います。現役の皆様頑張ってください。さて、私が運営するボランティア団体は16年活動継続できました。今回のOB会で受けた感動をベースに活動の更なる発展に取り組みます。ところで、長崎地区では定期的にOB会を開催しています。OB・OG・現役の皆様、長崎に来られる際は是非ご連絡下さい。懇親をいたしましょう!



47年目の奇跡

8代 戸上 勝喜

16時のOB会総会から参加しました。新入団員は1名(女性)との紹介がありました。その入団の決め手は「入学式での応援団の演武がかっこいいから」…なんと素晴らしい。

総会の後は、歩いてメルパルクまで移動、子飼商店街、浄照寺、藤崎宮と歩いて、ホテルに到着した。懇親会は19時スタート。椅子に座り改めて名簿を見ながら新入団員の名前を確認すると「高野」さん。出身高校が私と同じ「大分舞鶴高校」ではないか。ビックリして感動。応援団の歴史の中で、大分舞鶴2人目、私が昭和47年度入学なので、47年ぶりの快挙になります。学部学科も同じ、法学部法学科でした。

高野さんにお会いすると、爽やかなお嬢さんでした。実家を確認すると、これまたビックリ。私の妹の家から歩いてすぐの所です。これを奇跡と言わず何と言うのか、の思いになった次第です。

その懇親会の中で現役の演武披露があり素晴らしかった。懇親会の後は二次会の瑞穂へ。31人の大所帯で応援らしくワイワイ、ガヤガヤ。最後の仕上げは、下通で武夫原頭に草萌えての演武でした。

次の日は、心地よい疲れを感じながら無事に我が家に戻ってきました。参加された皆さん、来年もまた元気でおいしましょ。多くの皆さんとお会いできるのを楽しみにしています。

痩せます

14代 吉岡 秀記

12代島子さんの奥様から痩せるためには、まだまだ歩く量が足りないとはっぱをかけられました。歩く量が多い程痩せるようなので、今度のOB会までに現役の頃の体重まで戻せたいです。元気をもらえました。

また お会いしましょう

33代 井手口 遥

毎年OB会参加人数が増えているとのことで、応援団OB会が益々活気付いてきているのではと嬉しく思います。今回は昼間にチアOG茶話会も開き、久しぶりに懐かしメンバーとも再開できました。現役生含め、皆の頑張る姿に私も元気をもらいました。皆さま、また元気で会いましょう……☆



第27回熊本大学応援団OB会

令和元年11月2日(土)

- 14:00 OB練習(25人)武夫原
 - 16:00 OB会総会(30人)くすの木会館
 - 19:00～懇親会(60人)メルパルク熊本
- 多くのOBの参加ありがとうございました。

終って「もっこす」で楽しみました 24代 村上 俊樹

令和元年度OB会の幹事をされた16、17、18代の先輩、お疲れ様でした。とても有意義で感動したひと時でした。総会から参加させていただきましたが、HPで練習風景をみて、来年は是非、練習から参加したいと強く思いました。懇親会では、近い代の先輩方も多くおられ、楽しく、昔を思い出しながら話をさせていただきました。また、現役の演武を見て、精一杯声を出して頑張っていたあの頃の自分と、今の自分を比べて、今の自分が仕事も家庭もプライベートもどこかさぼっているのではないかと、ハッとさせられました。また、金守先生の娘様が横浜からお出でになられ、お会いできて、「make it possible with CANON」の話ができたことが非常に懐かしかったです。(娘様の娘さんがCMの声を発せられていることを昔聞いていたのです)懇親会のあとは、黒髪で世話になった「もっこす」でしっかり酒を楽しみました。来年も必ず参加し、今の自分を振り返りたいと思います。押忍

OBからの昔の思い出

初代先輩の バカボン@ブスの推定秘話 50年以上前の話

3代 古賀正博

18～19歳の田舎育ちの和田さんと副島さんが町へ行ったとき、たまたまバスが来て、胴バラに、KYUSHU SANKO BUSと書いてありました。そこで、和田さんが言いました

●おい副島、熊本は変やのう。バスに九州三個バスと書いてるぜ
—そこで副島さんが言います。

●バカモンやなー、あれは九州サンコーバスたい。バスを英語でBUSと書くぜ

—それ以来、和田さんは都合が悪いときは副島さんをバスと呼び、応えて副島さんは和田さんをバカボンと呼ぶようになったとさ! (推定者 3代目 古賀正博)



昭和43年2月10日 撮影

懐かしい練習風景

6代 遠山 栄二

幹事の方々、毎回お世話になっております。ビデオも拝見しましたが、懐かしい練習風景ですね。今回、家の都合で出席出来ませんでした。東京でのOB会などで皆さんにお会いできるのを楽しみにしております。

ご無沙汰です 元気です 7代 前島 光幸

3年前の50周年記念 OB 会以来、御無沙汰していますが、普通に元気に過ごしています。SSK には入社以来、約40数年お世話になっていますが、今も、東京事務所(上野)で働いています。佐世保→熊本→佐世保→大阪→佐世保→東京(神奈川)と生活してきましたが、どこも住めば都で、楽しかったり、色々ありました。今後は、健康第一で欲張らず生きて行きたいと思っています。応援団の4年間は、貴重な人生の1ページでした。”押忍”



練習参加者も多く盛り上がる。後方の広がる立田山は昔のまま

「道 三題」 4代 児倉静二

(その一) 腹の立つときや茶碗で酒を〜♪♪酒は涙かため息か〜
心の憂さの捨てどころ〜 エ〜舐めもせぬのにやけで飲む〜♪♪
大学紛争冷めやらぬ頃、新たな応援団を作るべく和田さんの初任地を訪ねた。放課後、車に揺られて 30 分、着いた先は小さな小料理屋。酔明かして、女将から繰り返し教わった冒頭の都々逸、思えば、豊津から行橋へはまっすぐな一本道、店は、その突き当たりにあった。

(その二) 駅から続く細い道が大きく右にカーブして、間宮君の生家へ。ご両親に挨拶される和田さんの背中が小さくふるえ、とぼとぼ並んで歩いた帰り道、慟哭の日。秋の陽射しにゆれる稲穂、能勢の山々と共に、第 29 代 間宮健次君のことは 生涯忘れることはできない。

(その三) この屈託のない笑顔はどこから来るのだろうか。机上の写真はいつも笑ってる—

ホンマのキンキラキンのゴルフクラブを買ったんだって、ならばその切れ味を拝見すべく、連チャンゴルフの旅へ。しかーし、北海道までは長ーい道のり、和田さん一人では北方領土まで行きかねない。ここは敬愛する古賀先輩の出番だ。そして…

「次回は是非、台湾でやりましょう。ゆびきり、げんまん。」

次の年、和田さんは約束を果たすことなく、遙か遠い旅路へと逝ってしまった。一枚の写真を残して—。



18代を中心としたOB演武、「我が熊大」の歌声は響く



武夫原頭に草萌えて… 飲んで気持ちは学生時代

和田先輩にとって最後のOB会になった2012年秋のOB会

何もないところに何かを作る
そして そこに生まれた新しい存在に
一人 また一人と集い合う 集まってくる
喜びがあり 悲しみがある
“生きている”ことをしみじみと感じる
そうだ!
人生は感動だ
汗と涙で築きあげる感動だ



昭和42年(1967)7月 初代団長
和田英樹氏の日記から

次回開催のOB会

○令和2年10月31日(土)
○熊大武夫原・メルパルク熊本
○14:00 集合⇒16:00 総会⇒
19:00 懇親会(メルパルク熊本)
日程調整のうえ、多くのOBの方の参加をお願いします。
(詳細な案内は後日)